

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

朝、学校へ行くときちゅうで、ゆうとは小さな池を見つけてました。池の水は少しにごっていて、はっぱがういています。

「ここには何かいるのかな」

ゆうとは気になって、かえりにまた見ることにしました。その日から、ゆうとは毎日そのそばに立ちました。

水の中のをぞき、音をきくのが楽しみでした。

雨の日も、さむい日も、長い時間見つづけました。

ある日、つかれてまっすぐ家に帰ろうとしました。でも、水がゆれて小さな何かがかうごくのを見ました。

「何かいる!」と思い、ゆうとは近づきました。すると、黒い小さな魚がすばやくにげました。

「いたんだ!」

ゆうとはうれしくなり、妹に話しました。妹も「まい日見ていたからだね」と言いました。

それからすうしゅうかんだつと、魚は何びきもふえました。

ゆうとは池のそばでしばらく立ち、えがおになりました。

「またあしたも見にくるよ」

池は何もこたえないけれど、やさしい時間がながれているような気がしました。



(1) 文にある「――」の「その」とはなにをさしていますか。



(2) ゆうとがさいしょにしたことはどれですか。ばん号をまるでかこみましょう。

- ① 池のそばでえがおになった
- ② 学校のかえりに池を見ることにした
- ③ 魚がふえたのを見た
- ④ 妹に話した

(3) つぎのできごとを、ほんぶんのおこったじゅんばんにすう字をならべましょう。

- ① 魚が何びきもふえた
- ② 小さな池を見つけた
- ③ 黒い小さな魚を見た
- ④ 池のそばに毎日立った



(4) さいごに、ゆうとはどんな気持ちになりましたか。ばん号をまるでかこみましょう。

- ① 心がしずんだ
- ② ときどきしてこわかった
- ③ 心があたたかくなった
- ④ いらいらした

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

朝、学校へ行くときちゅうで、ゆうとは小さな池を見つけてました。池の水は少しにごっていて、はっぱがういています。

「ここには何かいるのかな」

ゆうとは気になって、かえりにまた見ることにしました。その日から、ゆうとは毎日そのそばに立ちました。

水の中のをぞぎ、音をきくのが楽しみでした。

雨の日も、さむい日も、長い時間見つづけました。

ある日、つかれてまっすぐ家に帰ろうとしました。でも、水がゆれて小さな何かがかうごくのを見ました。

「何かいる!」と思い、ゆうとは近づきました。すると、黒い小さな魚がすばやくにげました。

「いたんだ!」

ゆうとはうれしくなり、妹に話しました。妹も「まい日見ていたからだね」と言いました。

それからすうしゅうかんだつと、魚は何びきもふえました。

ゆうとは池のそばでしばらく立ち、えがおになりました。

「またあしたも見にくるよ」

池は何もこたえないけれど、やさしい時間がながれているような気がしました。



(1) 文にある「—」の「その」とはなにをさしていますか。



(2) ゆうとがさいしょにしたことはどれですか。ばん号をまるでかこみましょう。

- ① 池のそばでえがおになった
- ② 学校のかえりに池を見ることにした
- ③ 魚がふえたのを見た
- ④ 妹に話した

(3) つぎのできごとを、ほんぶんのおこったじゅんばんにすう字をならべましょう。

- ① 魚が何びきもふえた
- ② 小さな池を見つけた
- ③ 黒い小さな魚を見た
- ④ 池のそばに毎日立った



(4) さいごに、ゆうとはどんな気もちになりましたか。ばん号をまるでかこみましょう。

- ① 心がしずんだ
- ② ときどきしてこわかった
- ③ 心があたたかくなった
- ④ いらいらした